

令和2年度 いこま寿大学第1回学生委員会議事録

日時 令和2年11月16日(月) 13:45 ~ 15:45
場所 コミュニティセンター 一階 文化ホール
出席者 各学年クラブ長及び1年クラブ長
いこま寿大学事務職員

※事務局と各学年クラブ長及び1年クラブ長委員会開始 (13:30~13:45)

1. 挨拶と役員紹介

学生委員会平田委員長挨拶

- ① 第二学部副委員長 小谷久美子(ハイク初心10km3年) 第二学部副委員長 高橋隆也(クッキングA2年)
書記 植西節子(ハイク初6km) 書記 鶴飼和廣(絵画)
会計 平井誠三(陶芸) 会計監査 西野幸子(ハイク初6km)

企画総務部会長 小谷久美子(ハイク初10km)
スポーツ部会長 新田博司(陶芸)
社会貢献部会長 大寺幸人(コーラス)

演芸部会長 田中啓一(絵画)
ことぶきサロン部会長 檀上芳郎(クッキングA)

- ② 在籍者数と休学者状況報告
③ 学生委員会重要課題と解決策
・ウイズコロナ(3密遵守で安全と安心)
・定員割れ充足
④ 企画総務部会強化(部会長 小谷副委員長)
⑤ 学生ネットワーク構築と情報発信(高橋副委員長)

2. 連絡事項

① 企画総務部会

コロナ対策の意見交換、三者協議(担当の先生、学生、生涯学習課及び事務局)
臨時企画総務部会等会議を行った。

◎ 9月開校後は、以下に掲げた項目を皆さんと考え、充実した寿大学にして行きたいと思います。

- ① 寿大学の校風を作っていく。
- ② 各クラブの良いところ、クラブ自慢を出してもらおう。
寿大学の良いところをクラブことに出し、生駒市民の60才以上の方達に伝えていく。
安全安心のクラブ活動の意見を集約して頂き、良さを実感して頂く。
- ③ クラブ長への伝達方法の確立。
・相談窓口を開設する
・寿大学の広報を作成
・調整委員会メールアドレス等交換したい。皆様の協力をお願いします。
- ④ 寿大学の充足率の問題

② 学生便り

第一学部高橋副委員長より 学生委員会便りの説明

【1】 情報発信の仕組みを作りました。

半数の学生が休学している状況を鑑みて、学生目線で情報共有できる「学生委員会便り」
をタイムリーに発信していく。

10月16日現在のいこま寿大学在籍者数は定員の50%、うち休学は40%

【2】相談窓口を創設します。

クラブ学習での疑問・質問、ご提案を、学生委員会三役、コロナ対策委員長が対応。

【3】クラブ長様の電話番号・アドレス等の情報について事務局から受け入れる同意のお願い。

学生委員会から情報発信のみに使用するアドレス等を登録のお願い。

アドレスのないクラブ長様は、副クラブ長様かアドレスのあるクラブ員様の登録を宜しく
願います。情報発信と相談窓口の創設により、学生の皆様と学生委員会は好循環の
関係を構築していきます。

③ 社会貢献部会

社会貢献部会活動について

1. 前期の活動(4月～11月)

活動の3本柱(ことぶき広場維持管理・高齢者福祉招待公演・義援金活動)

① 活動実績

4月～11月 前期においては、ことぶき広場の景観は維持

2. 今後の課題

学生委員会役員を中心として、「気らくネット理事会」、行政/関係部署と相談を開始。

① 広場の活性化策の検討(プレイス・メーカー)

② 植栽活動のローメンテナンス化

③ 行政と再調整、支援/指導強化依頼

設立時のコンセプト「夢のある場所」「憩いの場」「学習フィールド」

3. ボランティア募集

ことぶき広場の整備作業に協力できる方

期間は来年 1月～3月まで

連絡先 大寺幸人 携帯 090-5122-5620

PCアドレス oterato@m7.gyao.ne.jp

④ コロナ対策

コロナ対策の状況について

1. 奈良県及び生駒市におけるコロナウイルス感染状況現状認識

別紙参考

2. 今年度10月までの活動

① クラスを選び、学生委員会メンバーが授業に同席して、事務局が準備した

クラブ別「学習日の注意点」について、その実施状況の確認を行っている。

3. 今後の進め方

① 1回目の学習では、問診票の確認と検温は事務局がおこなっていたが、2回目以降は各クラブ長が実施するなど、対策の実施方法は変化していく。

※必要な対策が継続的に確実に実施されることが必要である。

② 「いこま寿大学から決して感染者を出さない」の信念のもと、情報連絡を密にしな
がら皆さんと一緒に進めていく。

⑤ 会計報告

1. 令和元年度 寿大学学生委員会・期末決算報告
2. 令和2年度 いこま寿大学学生委員会 部会活動予算

書記 鵜飼 和廣・植西 節子